



年齢差は関係なくお互い一人の棋主として真剣勝負

白黒つける盤上の熱き戦い

三橋公民館主催で新春囲碁大会

三橋公民館が主催する毎年恒例の新春囲碁大会が、2月19日、垂見小学校体育館クラブハウスで開かれました。41人の参加者は、囲碁の段級ごとに3つのパートに分かれて対局。熱気に包まれた大会には、大人に交じって4人の児童が、大人相手に盤上で頭脳戦を繰り広げていました。熱戦の対局の結果、Aパート（上級）は相浦正雄さん、Bパート（中級）は永江修さん、Cパート（初級）は高村義信さんが見事優勝しました。

43 チームが集い熱戦

第25回柳川消防・火の用心バレーボール大会

市民体育館と城内小学校体育館で2月12日、柳川消防・火の用心バレーボール大会が催されました。9人制のママバレーボールに6チーム、4人制のソフトバレーボールに37チームの合計43チーム、281人が参加。白熱した戦いを見せた試合の結果、ママバレーボールは柳城、ソフトバレーボール1部は城内クラブ、2部はセレ部、トリムの部はSanctuaryがそれぞれ優勝、プラカード賞に10チームが輝きました。



ネット際で激しい攻防が繰り広げられた



入力したとおりに動くと児童は大喜び

気分はロボットプログラマー

豊原小学校でロボット体験学習

子どもたちにもものづくりの楽しさを体験してもらおうと2月9日、豊原小学校で久留米工業大学の出前講座ロボット体験学習がありました。同大学准教授の松尾重明さんと学生3人が、同校4年生28人を指導。児童たちは松尾さんらに教わりながら、てんとう虫型のロボットを組み立て、「ロボット同士が出会ったら鳴き声を出して挨拶する」などの動き方を入力しました。自分たちが入力した通りにロボットが動くと、「やった」「すごい」などの声があがりました。

1000 人が昇進を祝いました

琴奨菊関大関昇進祝賀会

琴奨菊関の大関昇進を祝う祝賀会が、2月8日、市民会館で行われました。祝賀会には市内を始め広島からも参加者があり、約1000人が琴奨菊関の昇進を祝いました。祝賀会の冒頭にあいさつをした後援会会長の立花寛茂柳川商工会議所会頭は、8勝7敗と振るわなかった初場所の成績に触れ、「苦しいときこそ応援を。次回は優勝祝賀会に」と大関を激励しました。その後、鏡割りに続き相撲甚句や剣詩舞が披露されたほか、大関が選んだ反物が当たる抽選会がありました。



鏡開きをする大関琴奨菊関（中央）

仕事をすることの大切さを学んだ

やかべっ子キャリアウイーク

矢ヶ部小学校6年生20人が2月8日と9日、同校区内にある8つの事業所に分かれて1日職場体験をしました。「ものを作ることが好きなので、この日を楽しみにしていました」という笠遥喜くんと辻拓海くんは、8日、体験先の（有）田代バッテリーでノリ業者用のヘルメットライト作りに挑戦。代表取締役の田代穂積さんの指導を受けながら、真剣な表情で工具を使って組み立てました。田代さんは「自分たちの手で、製品を完成させる喜びを知ってほしいですね」と目を細めていました。



田代さん（右）の手ほどきを受ける笠くん（左）と辻くん

夢乗せて線路は続く東北へ

水も人も
キラリ

川柳

今月の入選作品・課題「夢」

野村美智子（旭町）

あの3・11が巡ってくる。未曾有も想定外も自然を恐れぬあくまで人間の言い訳でしかない。私たちは全てが破壊された惨状を目にした。その中で誇りと秩序を失わない東北の人々に拍手した。「何もかも流されたが心は流されなかった」とは被災地からのメッセージ。私たちにできることは東日本大震災を永遠に忘れないことである。流青

揮毫会ゆめという字の太いこと
画用紙をはみ出た夢の絵跳べよ児よ

夢ばかり追って飛べない鳥になる
見る夢を一つ諦め一つ古い

青春の夢はるかなる地平線
我が国の夢たくす人いずこにか

ゆりかごに夢いっぱい親心
語りべの子らの心に夢与う

地蔵尊数多の夢を託されし
見るだけで夢が広がる旅プラン

夢叶うお守り胸に入試験
小さな手大きな夢を秘めている

山間の夢の吊り橋春を待つ
還暦の夢の扉をノックする

幸せは夢かたりあう友がいる
逢いたいよ夢でいいから母さんに

ツバメの子夢を背負って育ちけり
夢であれ祈る遺族の事故現場

春の夢原発被害ない暮らし

川柳を募集しています。選句者は梅崎流青さん。4月の課題は「父」です。入選作品は4月1日号に掲載します。

●応募方法 川柳と明記し、自作、未発表の作品（※1人3句以内）に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスマまたは直接、柳川庁舎企画課広報広聴係（☎77・8425、FAX 74・5520）へ、3月15日（※必着）までにお送りください。

満ち潮に追われる蟹よ父もまた

流青